

第4回 気高地域学校統合準備委員会

令和3年7月14日（水）19:00～

気高町総合支所

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

(1) 第3回議事概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

(2) 広報紙の発行について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

4 議 事

(1) 学校種及び設置位置について・・・・・・・・・・資料3

5 その他

6 閉 会

気高地域学校統合準備委員会委員名簿

	所 属	氏 名	備考
1	宝木地区まちづくり協議会会長	米田 克彦	
2	酒津地区まちづくり協議会会長	河根 裕二	
3	宝木小学校校長	田中 幸子	
4	宝木小学校 PTA 会長	上田 卓	
5	瑞穂地区まちづくり協議会会長	塩田 則夫	
6	瑞穂小学校校長	山根 啓嗣	
7	瑞穂小学校 PTA 代表	三谷 知生	
8	浜村地区まちづくり協議会会長	湯口 史章	
9	浜村小学校校長	長谷川 理恵	
10	浜村小学校教育振興会会長	横山 圭輔	
11	逢坂の教育を考える会会長	久野 壯	
12	逢坂小学校校長	岡本 千鶴	
13	逢坂小学校 PTA 会長	久野 慶太	
14	気高中学校校長	池原 巳途志	
15	気高中学校 PTA 会長	井上 康範	
16	浜村保育園園長	森村 郁子	
17	浜村保育園保護者会長	小林 奨	
18	ひかり保育園園長	伊藤 正子	
19	ひかり保育園保護者代表	江谷 清隆	

1 日 時 令和3年6月8日（火） 19時 ～ 20時42分

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】19名
【気高町総合支所】職員2名
【教育委員会事務局（教育総務課校区審議室）】職員2名

4 議 事

（1）講演会（小中一貫教育について 講師 木下公明 氏）

《質疑・意見》

○小中一貫教育の必要性については理解できた。しかし気高地域においては現在の児童・生徒数から考えるとすぐに義務教育学校を作るような差し迫った状況ではないのではないかと。現在の気高地域の小・中学校の人数で考えると、保護者等への説明もつかないと思うので、まずは4つの小学校を統合するのがいいのではないかと思う。

○鹿野学園の保護者からは、施設が離れていることで例えば音楽の先生が2つの校舎を往来する必要があると、保護者も移動する必要があるとというようなことをデメリットとして聞いている。十数年後かに児童生徒数が減少し小中一貫校にすることにあるのであれば、将来を見据え中学校の近くがいいのではないかと思う。

（2）学校種等について

《質疑・応答》

○中学校周辺に学校地を決めたとすると、小中が連携して教育効果を高め、将来的に義務教育学校になればメリットがあると思う。例えば中学校周辺に小学校を整備すると、体育館やグラウンド等の共用も考えられ、また地形に高低差があるため移動に時間を要することも考えられる。新しい最先端の学校で地域の子どもたちに教育を受けさせるという夢を描くと、敷地が狭くどうしても思い通りにはいかないのではないかと感じているがどうか。

（事務局回答）：中学校周辺に整備した場合に、施設を共用するという点について十分に議論していただく必要があると思っている。あくまでも子どもたちや先生方が使いやすいものになるよう検討する必要がある。

○気高郡の20年後の児童生徒数で考えると、新しい用地というのは有力な候補だと思う。浜村駅近辺の田園地域であればそれなりのスペースがあると思っている。この地域について教育委員会としてはどう思っているのか。

（事務局回答）：新規用地の取得については、まちづくりに関わってくる内容でもあり、教育委員会だけで判断できるものではない。将来のまちづくりのことも含めて皆さんに議論いただきたいと考えている。

5 その他

《次回予定》

日にち：7月8日（木）で開催

時 間：19時から 場 所：気高町総合支所 2階会議室

地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

第3回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

木下公明さんに小中一貫教育についてご講演いただきました！！

6月8日、19名の委員さんの参加のもと、第3回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。前回の会議で小中一貫校について詳しく話を聞いてみたいという意見があり、気高地域出身で鳥取市に初めてできた小中一貫校「鳥取市立湖南学園」の初代校長を務められた木下公明先生を講師に迎えご講演をいただきました。

講演で、「新しい時代を生きていく子どもたちに必要な力を養うため、国としても、社会の変化・子どもの変化に柔軟に対応できる教育システムとして小中一貫教育を推し進めており、それぞれの地域が抱える課題解決のための1つの選択肢として気高地域においても検討してはどうか。」といったことから話されました。そして、小中一貫校設立に関わられた体験談として、「学校統合は地域文化の融合であり各校区に根差した文化を守りながら気高文化へ発展させていくような取組が重要です。」と言われ、運動会を例にあげてご説明をいただきました。最後に、あくまでも「子どものための統合」という第一義を最優先とし、「なぜ統合したのか大人たちが子どもたちにも説明できるよう、統合準備委員会でしっかりとした議論をする必要がある。」としめくられました。

本委員会では次回以降、さらに新しい学校の学校種や設置位置について議論を深めていきたいと考えています。あらためてこのたび、気高地域の将来を担う子どもたちのためご講演いただきました、木下公明先生に紙面をかりて感謝を申し上げたいと思います。



平成20年4月に県内初の小中一貫校として開校した湖南学園の様子

※第3回会議資料・議事概要はこちらからご覧いただけます⇒



議論の内容を紹介します

～第3回気高地域学校統合準備委員会の議論より～

◆学校種（学校の形態）について

いきなり小中一貫校にするよりも、まず4つの小学校を1つの小学校に統合するほうがいいのではないのでしょうか。



でも、将来的に小中一貫校にするなら、今からその時のことも考えておく必要がありますね。

◆学校の場所について

中学校の周辺は高低差があるので、校舎とグラウンドを往来するのに時間がかかってしまうのではないのでしょうか。



これからは小・中学校の先生が授業のため学校を往来することが増えてくるようです。学校が離れていると子どもや先生の移動が大変になるのではないのでしょうか。

ともだちたくさん、楽しいね（気高中学校区の交流の様子をご紹介！！）

気高町内4つの小学校では、日ごろから様々な機会を捉えて交流をおこなっています。6月22日には、宝木小学校・瑞穂小学校の児童とひかり保育園の園児が近くの畑でじゃがいも掘りを行いました。

当日は、天候が心配されていましたが、良い天気恵まれ正に子どもたちの活動を天が応援してくれるなか、園児・児童がふれあいました。小学校統合に向けてこのような活動を通じて、各学校の児童同士の仲間意識が育まれています。

なお、交流の様子は各校のホームページでもご覧いただけます。子どもたちが安心して学校へ通えるようこれからも見守っていきたいと思います。



発行：気高地域学校統合準備委員会
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室
TEL : (0857) 30 - 8405
E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp